



### 兒童研究法(承前)

文學士 松本孝次郎講演

聴覺に就きて

聴覺は普通の人の思ふよりは不完全な者が澤山あります。即ち百人中十九乃至二十五人は不完全であります。そうして其原因は熱病、カタル、咽喉及ユースターキ氏管の病氣などの爲に起るのもあり、又打たれること、耳をひつばること、非常の高音を耳の傍よりさかざれしこと、鼻汗をかむ

時に兩鼻孔を同時につよくかみて鼓膜を害することなどにもよります。又聴覺は完全でも色に付て色盲といふのがある様に音をきゝわけることのできないものが澤山あります。

さて耳のわるい兒童はどんな有様であるかといふと(一)常に不注意であること、(二)何をすることもうそうにぐづぐづすること、(三)それろかで靴ばえがわるく何もできないこと、(四)すぐに命令通にせず、躊躇すること、(五)甚しいのは常に口をあけて居ること(之は耳がなはると自然に口がしまります)などが著しいあらはれであります。

此通でありますから外見上性來がれるかであるか又は故意に人の命令をさかぬやうに見える兒童でも其實は耳のわるいのに由るものがあります。ですから兒童に普通と違つた様子があつたならば

聴覺が不完全でないかといふことをよく考へてやることに必要であります。殊に鼻、咽喉の病のある兒はよく耳の遠いものであります。

聴覺の研究上注意すべき事

高き音響の刺戟に由りて瞬きするは、何時頃よりはじまるか。又小兒が音響の刺戟に由りて醒むるは、何時頃よりはじまるか。一体幼兒の出生後數ヶ月の時に、其音響に對する感覺を檢査しようと思つたならば、次のやうにするのが最も簡便です。

即ち金貨、銀貨、白銅貨、銅貨などのいろ／＼の貨幣を、小兒に近い處で、通常二十センチメートルの高さより落し、この爲に起る音響で試験するのがよろしい。そうすると幼兒は重い圓銀を落した時には、其音響に由りて其方をふりむき、又は瞬

きをしても、小貨幣をする時は、ふりむきも瞬きもしないことがあるのを發見するでせう。それが兒童が大きくなるにつれて、音響に由りて、どの貨幣が落ちたかをささるやうになるでせう。

兒童は、稍遠き距離の處で起つた強い音響に對して、頭を動かし、腕を舉げ、又は突然身を動かし、之に應ずることあるか。又は目を閉づることあるか。又は安靜でない有様をあらはすか。又は吸うて居つた乳を一時やめるか。

出生後最初の週間に、唱歌は小兒を慰むるか。又子守歌は小兒を睡らせるか。突然高聲を聞く時の、小兒の眼瞼の運動は、之を大人の場合に比ぶると遅速あるか。音響の爲に小兒が頭を轉ずる時は、よく音響の起り來る方向に向て轉ずるか。未だ知らぬ人の聲又は動物の聲を聞く時に、小兒は眼を

廣く開き居るか。母の姿を見ずに、聲ばかりを開て、之を母の聲である、と認むるのは何時頃よりはじまるか。

音樂上の種々の音に對して、愉快の顔容をあらはすのは何時頃よりはじまるか。鋭き音又は調和せぬ音に對して、不愉快の顔容をあらはすのは何時頃よりはじまるか。

遠方の音響は、どんな種類のものが、初めて小兒に認めらるか。又最も屢認めらるゝは何であるか。小兒が屢聞く音響に對して、平氣で居るのは何時頃よりはじまるか。小兒が自ら紙片を破りて音響を發し、又は机を敲きて音響を發し之を喜ぶのは何時頃よりはじまるか。



史傳

野村望東尼 (ついで)

下村三四吉

望東尼が平尾の山莊は、勤王の事歴と淺からぬ關係ありき。かの方外の僧侶にて憂國勤王の念こどに深く、幕吏のためにつけまどはれて、遂に西郷隆盛と共に身を薩摩の海に投してはてたる月照師が福岡に來りしときも、同藩の月形、鷹取、平野、早川等の志士がこれを誘ひて密會せるもこくなり、平野國臣は、しばし尼の庇護によりて身をこの山莊にひそめしことあり。また、月形、早